

令和4（2022）年度 第1回水工学委員会および幹事会 議事録（最終版）

日 時：令和4年6月7日（火）13:00～16:40

場 所：オンライン（Zoom）

出席者

道奥康治(顧問), 中北英一(顧問), 立川康人, 矢野真一郎, 溝口敦子, 二瓶泰雄, 鼎信次郎, 田中規夫, 諏訪義雄, 竹林洋史, 泉典洋, 大石哲, 手計太一, 森脇亮, 宮本仁志, 風間聡, 田中賢治, 佐山敬洋, 山田朋人, 岩崎理樹, 梅田信, 川越清樹, 芳村圭, 小田僚子, 田端幸輔, 朝田将, 柿沼太貴, 佐藤隆宏, 陰山健太郎, 荒木千博, 大澤範一, 鈴木良徳, 戸田祐嗣, 谷口健司, 武田誠, 入江政安, 市川温, 川池健司, 小林健一郎, 赤松良久, 三輪浩, 田村隆雄, 重枝未玲, 知花武佳, 椿涼太, 堀合孝博
(46/50名)

岡田将司(オブザーバ), 山城賢(オブザーバ), 深見和彦(オブザーバ), 林淳二(土木学会事務局)

欠席者：中川一(顧問), 寶馨(顧問), 清水康行(顧問), 内田龍彦, 山上路生, 平林由希子, 山口弘誠, 杉原裕司, 中山恵介

記録者：岩崎理樹

(以上, 敬称略)

0. 立川委員長挨拶

- ・議事に先立ち, 立川委員長より挨拶があった。

《報告事項》

1. 令和4年度水工学委員会構成（幹事長） 資料 1-1,2
 - ・資料に基づき説明された。
 2. 令和4年度の年間スケジュール（幹事長） 資料 2
 - ・資料に基づき説明された。
 3. 令和4年度水工学に関する夏期研修会（東京大学, 小田委員） 資料 3
 - ・小田委員より資料に基づき準備状況の説明があった。
 4. 水シンポジウム 2022in やまがた（風間委員（代理：幹事長）） 資料 4
 - ・風間委員（代理：矢野幹事長）より, 準備状況が説明された。対面とオンラインを併用しての開催を予定。積極的な参加の要請があった。
 5. 部会・小委員会・関連委員会の活動報告及び活動計画
- 部 会 : 河川部会（諏訪委員（代理：田畑委員）） 資料 5-1
基礎水理部会（田中規委員） 資料 5-2
環境水理部会（竹林委員） 資料 5-3
- 小委員会： グローカル気候変動適応研究推進小委員会（中山委員（代理：幹事長））
河道管理小委員会（田中規委員） 資料 5-4
水工学オンライン小委員会（谷口委員） 資料 5-5
- 関連委員会： CommonMP（風間委員（代理：幹事長）） 資料 5-6

土木学会論文集編集委員会（風間委員（代理：幹事長））	資料 5-7
河川懇談会（二瓶委員）	資料 5-8
環境システム委員会（竹林委員）	資料 5-9
流域管理と地域計画の連携（委員長）	資料 5-10
土木建築 TF（委員長）	資料 5-11

・各部部长，小委員長および関連委員から，各部会，各小委員会，関連委員会の活動報告と今年度の予定に関して説明があった．詳細は資料の通りである．

6. 令和3年度水工学委員会の活動評価（幹事長） 資料6

・矢野幹事長より，水工学委員会が A ランクの評価であり，この評価に伴って調査研究費の 2022 年度 配分額が 95.1 万円となったことが報告された．

7. 防災学術連携体ビデオ作成WG（幹事長） 資料7

・矢野幹事長より，WGでの作業の進捗について説明があった．7月完成予定で作業を行っている．

8. 水工学の今後10年の研究課題について（委員長） 資料8

・立川委員長より，今後10年に水工学が取り組んでいくべき課題について，スケジュールやメンバー，取り組み方の案について資料を基に説明があり，今後の進め方について議論した．

9. その他

・泉委員より，水理公式集例題集について，作題を依頼中で第一稿締め切りが 10 月初旬，発刊を来年度早々に予定している旨，説明があった．

《協議事項》

1. 令和4年度第67回水工学論文集査読スケジュール・編集作業等（編集幹事長） 協議資料 1

・溝口編集幹事長より，新たな編集方針・体制，今年度の投稿と査読の状況の説明があった．
 ・Editorial Manager の導入についておおむね問題がなかったが，一部，二重投稿や投稿締め切り直前の対応などがあり，今後の課題である．
 ・投稿システムの変更に伴い，編集幹事長の負担が極めて大きい．今後の運用に当たっては，副編集幹事長の設置など複数体制で作業に当たる必要性などが示された．

2. 令和4年度第67回水工学講演会について（愛媛，森脇委員） 協議資料 2

・森脇委員より，今年度の講演会に関する準備状況の説明があった．
 ・対面での開催で準備をしているが，ハイブリットの対応も可能か確認中．
 ・対面開催の場合は，400 名以上の参加者で県からの助成金が受けられるため，対面開催となった場合は積極的な参加の要請があった．

3. 令和5年度第68回水工学講演会について（大阪，入江委員） 協議資料 3

・入江委員より，来年度の講演会に関する準備状況の説明があった．
 ・会場の準備状況について説明があり，大阪大学吹田キャンパスは予約済みで，大阪大学中之島センターの予約開始をもって会場を最終決定する．

4. 令和5年度水工学に関する夏期研修会（札幌，水工学委員会担当，岩崎委員） 協議資料 4

・岩崎委員より，来年度の研修会に関する準備状況の説明があった．
 ・次期委員会までに内容について決定していくことになった．

5. 令和5年度水シンポジウム（佐賀県，大串先生（代理：幹事長））

- ・ 矢野幹事長より，来年度の水シンポの準備状況の説明があった。
- ・ 矢野幹事長と大串先生（佐賀大学）で県との調整を行い，快諾済み。今後，九州地方整備局へ説明し，実行委員会を設立していく予定。
- ・ 開催地は佐賀市内を予定。

6. 令和4年度の水工学委員会の予算について（幹事長）

協議資料5

- ・ 矢野幹事長より，今年度の予算額（概算）の説明があった。今年度の水工学講演会の決算見込みは例年と比べ厳しい状況であり，次年度以降で投稿料の見直し（値上げや投稿料，参加費の導入など），もしくはシステムに関する費用の見直しを議論する必要があることが確認された。

7. 今後の水シンポの在り方について（幹事長）

協議資料6

- ・ 矢野幹事長より，今後の水シンポジウムの在り方について，現在の問題点を踏まえての執行部による改善案の説明があり，意見交換を行った。
- ・ 類似のイベント（例えば，一級河川で行っている全国水サミットなど）との共催や民間会社，河川に関するNPOとのタイアップなどは考えられないか。
- ・ 河川財団へのヒヤリングを行ってはどうか。
- ・ これまでは未開催県から開催地を選んできたが，その制約もなくすことも考えられる。流域単位や地整単位でローテーションを組むなど。
- ・ 今後MLなどで意見収集を行い，次回委員会にて方向性を決定する予定である。

8. その他

なし